

WHO ファクトシート

インフルエンザ（鳥その他人畜共通）

Influenza (Avian and other zoonotic)

2017年12月

重要な事実

- ・人は、A(H5N1)型、A(H7N9)型やA(H9N2)型の鳥インフルエンザウイルス及びA(H1N1)型や(H3N2)型の豚インフルエンザウイルスのような鳥、豚その他人畜共通インフルエンザウイルスに感染することがある。
- ・人間への感染は、主として感染した動物や汚染された環境に直接接触することで感染し、これらウイルスは人と人との間の持続的な感染能力は獲得していない。
- ・鳥、豚その他人畜共通インフルエンザウイルスの人での感染は、軽微な上気道感染（熱と咳）、早期の痰から、急速に進行して重篤な肺炎、ショック状態を伴う敗血症、急性呼吸不全、更には死亡までを引き起こすことがある。結膜炎、胃腸症状、脳炎及び脳症についてもウイルスの亜型により程度の差はあるが、報告されている。
- ・A(H5N1)型やA(H7N9)型ウイルスの人への感染例の大部分は、その生死にかかわらず感染した家禽類に直接もしくは間接的に接触したことに関連している。発生源の動物での疾病コントロールは、人への疾病リスクを減少させる上で決定的に重要である。
- ・インフルエンザウイルスは、水鳥が巨大な隠れた貯蔵所となっているために、根絶することは不可能である。人における人畜共通インフルエンザ感染は引き続き起きる可能性がある。公衆衛生リスクを最小化するためには、すべての人への感染を組織的に研究することによる動物集団と人間集団双方での質の高い調査及びリスクベースのパンデミック計画が必須である。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい（改定前）

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Influenza (Avian and other zoonotic)ファクトシート原文は [こちら](#)